

**製品名: TNF-IP 8L2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19091**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TNFAIP8L2
別名	TNFAIP8L2; Tumor necrosis factor alpha-induced protein 8-like protein 2; TIPE2; TNF alpha-induced protein 8-like protein 2; TNFAIP8-like protein 2; Inflammation factor protein 20
遺伝子 ID	79626.0
SwissProt ID	Q6P589
免疫原	抗血清はヒト TNFAIP8L2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

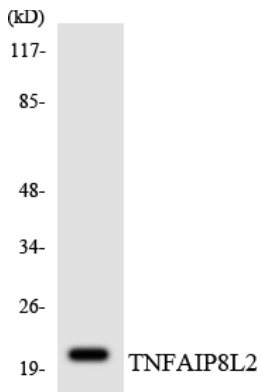
ドメイン:中央領域は当初、DED (デスエフェクター) ドメインを構成すると考えられていました。しかし、3D 構造データにより、こ

れまで特徴付けられていなかった、DED (デスエフェクター) ドメインの予測されたフォールドとは異なるフォールドが明らかになりました。このフォールドは、補因子が結合しやすい大きな疎水性の中央空洞で構成されています。機能:免疫恒常性を維持することにより、自然免疫および獲得免疫の負の調節因子として機能します。Toll 様受容体および T 細胞受容体の機能の負の調節因子です。免疫系の過剰反応を防ぎ、免疫恒常性を維持します。jun/ap1 および NF- $\kappa$ B の活性化を阻害します。Fas 誘導性アポトーシスを促進します。類似性:TNFAIP8 ファミリーに属します。TNFAIP8L2 サブファミリーです。サブユニット:CASP8 と相互作用する可能性があります。しかし、PubMed:19079267 では CASP8 との相互作用を再現できなかったため、この結果は不明確です。ドメイン:中央領域は当初、DED (デスエフェクター) ドメインを構成すると考えられていました。しかし、3D 構造データにより、これまで特徴付けられていなかったフォールドが、DED (デスエフェクター) ドメインの予測されたフォールドとは異なることが明らかになりました。これは、補因子が結合できる状態の大きな疎水性の中央空洞で構成されています。機能:免疫恒常性を維持することにより、自然免疫と獲得免疫の負の調節因子として機能します。Toll 様受容体および T 細胞受容体の機能の負の調節因子です。免疫系の過剰応答を防ぎ、免疫恒常性を維持します。jun/ap1 および NF- $\kappa$ B の活性化を阻害します。Fas 誘導性アポトーシスを促進します。類似性:TNFAIP8 ファミリーに属します。TNFAIP8L2 サブファミリー。サブユニット:CASP8 と相互作用する可能性があります。しかし、PubMed:19079267 では CASP8 との相互作用を再現できなかったため、このような結果は不明である。

## 研究分野

-

## 画像データ



TNFAIP8L2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。